

クジャ・ジャータカ（醜太子本生）について

伊藤千賀子

インドの説話文学は東南アジア諸国の文学に深く大きな影響を与えてきた。しかしモチーフが同じでも、時代や地域、文化の影響、伝播の仕方によって、それぞれが独自の特徴を有し、様々な形に変化してきている。「醜太子本生」は、出生の不思議、嫁取り、結婚生活、逃げた花嫁へのアプローチ、戦闘、因果応報、そしてこれらすべてを包含して輪廻思想が説かれ、本生譚のなかでも最も興味深いものの一つである。昨年の発表で「同種の本生譚であるというには最初に基本的な構造を示すべきだ」と申し上げたが、今回の基本構造は「醜い王子が美しくなる」ということである。

同系の本生譚を記す文献は全部で8種ある。

『菩薩本生鬘論』最勝神化縁起第四（後半）宋 紹徳慧詢等訳¹⁾²⁾

『賢愚経』14 降六師品（後半）元魏 慧覺等訳³⁾

『根本説一切有部毘奈耶薬事』巻13 唐 義浄訳⁴⁾

『六度集経』84 遮羅国王経 [太子本生] 呉 康僧会訳⁵⁾

Jātaka 531 *Kusa-jātaka* pp. 278~312⁶⁾

Mahāvastu II pp. 420~496⁷⁾

Mahāvastu III pp. 1~27⁸⁾

『今昔物語集』巻3. 摩竭提国王、燼杭太子語第十五

文献は8種であるが、*Jātaka* と *Mahāvastu III* は偈だけを取り出したものも比較の対象とするので、全部で10種類となる。

過去物語部分の基本的な筋を①出生、②成長、③結婚、④アプローチ、⑤戦闘、⑥美しくなる、6段階に分けて次に述べる。③④⑤は經典によって大きな差異があることをはじめに断っておきたい。

①跡継ぎに生まれなかった国王は、帝釈の助けにより男子をもうけるが、ひどく醜かった。②太子は成長するにつれ武勇で知られるようになった。③太子は遠国の美しい王女と結婚。王妃は太子の醜さを王女に知られないため夜しか会えないようにはかった。しかし王女はそれを知り、あまりの醜さに恐れをなして国へと

表α

	妊娠方法	変 装	王女が太子の醜を知る時期	事 件	職 業	武 器	己の醜を知るきつかけ	行 動	美の原因
薬	薬 〔多子〕		初めから	助象馬 〔獅子〕		螺, 輪	鏡	自殺	宝 珠
今			他人に教え られ照燈			弓, 螺	妻が逃げて 知った(?)	自殺	玉
賢	薬 草 〔雪山, 乳煎 臭, 不信〕		他人に教え れ照燈			弓貝声	鏡	自殺	宝 珠
鬘	薬 草 〔雪山, 乳煎 臭, 不信〕		初めから				妻から	自殺	宝 珠
六	果	牧 馬 人 象飼育人 登 樹 人	照 火		陶 工 染色家 馬飼育 料理人	説 法	元 々	国の 安泰	奉仏教
J	Sakka が妃 に触れる	hatthidanaka assagopa hatthidamaka padnininisu	蓮池で Kuśa から 聞く		vinavādaka kumbhakāra nalakāra mālākāra ālārika	sihassara	元 々	親孝行 ↓ 出家	verocana maṇi
J G					ālārika	sihassara			verocana maṇi
M II	guḍikā	chattradhara padmasare āmravane hastisālā aśvaśālā rathaśālā	象舎の火事	象を火事か ら助ける	dvināvāda mālākāra kumbhakāra śilpin coḍakadhovaka rajaka taṭṭakāra suvarṇakāra śaṃkhavalaya- kāra yantraka varutabhāṇḍa mahānasi kriḍāpanaka	siṃhanāda	padmasare	自殺	Jyotirasa ekāvalikā
M III	guḍikā	chattradhara padnāsare āmrarane	象舎の火事	象を火事か ら助ける	viṇāvāda mālākāra śilpin mahānasi kriḍāpanaka	siṃhanāda	padmasare	自殺	Jyotirasa ekāvalikā
M III G	Śakra にお 願いする	chattradhara padmāsare	象舎の火事	象を火事か ら助ける		siṃhanāda			

逃げ帰った。④太子は王女に近づくために琵琶演奏家、染物屋、陶工など種々の職業を経て最後に料理人となった。⑤そのころ王女におもいをよせていた7国王が結婚を申し込んできた。太子は彼らを獅子吼によって退治した。⑥太子は自分の醜さを知って自殺をしようとした。帝釈天は太子に頭にのせると美しくなるといふ宝珠を与えた。国は大いに榮えた。

次にそれぞれの本生話の違いを述べていきたい。筋はかなり複雑なので、理解を容易にするために荒筋の重要部分をピックアップした表 α をあげたい。略号は次の通り。鬘—『菩薩本生鬘論』, 賢—『賢愚経』, 薬—『根本説一切有部毘奈耶薬事』, 六—『六度集経』, 今—今昔物語集』, J—*Jātaka*, JG—*Jātaka* 偈のみ, M II—*Mahāvastu II*, M III—*Mahāvastu III* 散文, M III G—*Mahāvastu III* 偈のみ

① [薬][賢][鬘] は王が助力を受けたが、他は王妃が受ける。②略。

③④⑤この3部分の筋は大きく次の4種に分けられる。

(1)[薬] (2)[賢][今] (3)[鬘] (4)[六][J][JG][M II][M III][M III G]

(1)星占で結婚。逃げた王女を追っていく途中、象と馬を助け、持ら主が象馬をもらう約束をする。王女を連れて帰りに寄ると、象馬は風に吹かれていなくなっていた。無常と布施を説く一編として、モチーフを借りたものであろう。(2)[賢]太子は王女に横恋慕している6人の王を獅子吼などで撃退し、再び王女を手に入れる。[今][賢]には戦闘部分なし。(3)二人が婚約すると、王女に恋をしていた6人の王が攻めてくる。太子は彼らを討ち取って結婚。(4)王女が象や馬を見にいった時、太子は飼育係に化ける。太子を見に行った時は、ハンサムな弟を身代わりにする。王女は蓮池で太子を見て逃げ帰る。太子は種類の職につく。帝釈は同情し偽の手紙を7国に送った。太子は獅子吼で7王を征服。王女の7妹を7王にめあわせた。[JG]は王女を追うところから始まる。[六]は7王を説法で撃退。⑥ [六] 以外は同じ筋だが、太子が自分の醜さを知るきっかけが違う。[六]は

表 β

	現在	大過去	結合
薬	×	×	○
今	×	油	×
賢	六師	油	○
鬘	六師	×	○
六	×	独覚	○
J	恋	独覚	○
J G	×	×	×
M II	咳	×	○
M III	×	独覚	○
M III G	×	×	○

太子は仏教で国を治め、自身も美しくなった。

《現在物語》と《大過去》

《大過去》とは「醜太子本生」のさらに過去の因縁話のことを指す。現在物語は3種類、大過去は2種類となる(表 β を参照)。

《現在物語》 [六師] 泚沙王の弟は六師のために会を設け、ついでに釈迦も招いた。最終日に王は釈迦に足裏の輪相の因縁を訊ねる。[恋] 女性に恋をして修業にならない僧を見て、釈迦は過去の因縁を語る。[咳] マーラが菩提樹の根元で

菩薩の咳で潰走させられた。

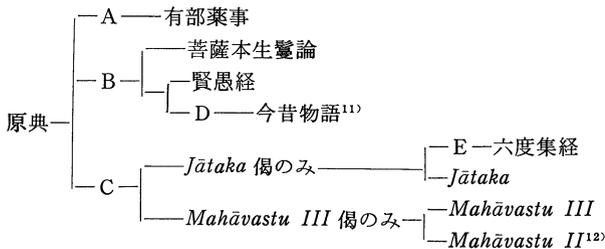
《大過去》〔油〕乞食の独覚に油屋は油粕を与えたが、妻の抗議により反省し、油を与える。〔独覚〕乞食の独覚に妻は食を与えた。夫は2人の仲を疑ったが、独覚が鳥のように飛び去ったのを見て、後悔した。

結 論

(1)主題からは3種に分類することができる。

(a)無常と布施の大切さ——有部薬事 (b)六師外道もマールもいつも仏陀に追われていた——賢愚経・菩薩本生鬘論・*Mahāvastu* (c)因果応報——六度集経・*Jātaka*・今昔物語

(2)現在・過去・大過去・結合部の全体からは大きく3種に分類することができる¹⁰⁾。



(3)六度集経は他の本生話とは違い、己の享受する仏教が大乗であるという確固たる視点に立って書かれたものである。

1) 西暦960-1127, 大Ⅲ336b~c. 2) *Ārya Sūra Jātakamālā* とは別のものである。J. Brough *The Chinese Pseudo-Translation of Ārya-Sūra's Jātaka-mālā*, Asia Major, new series, vol. XI, Part 1, London 1964 pp.27-53. 3) 大Ⅳ364b-365b. 4) 西暦703-713, 大XXIV 57b-58a. 5) 西暦251-280, 大Ⅲ 46b-47b. 6) PTS. 7) ed. by Emile Senart. 8) *Mahāvastu III* は偈が168あるが、44偈までは散文がまったくなく、後半にゆくほど増えていく。前半の散文は失われてしまったのであろう。Tilak Raj Chopra *The Kusa-Jātaka, a critical and comparative study* Hamburg. Cram de Gruyter & Co. 1966. 9) 日本古典文学体系。岩波書店。10) 表は試論。11) 今昔物語は現在には知られていない漢訳仏典から翻訳したものであろう。12) *Mahāvastu* を3種にわけて論じたが、これらの関係は Chopra 氏に依った。

〈キーワード〉 *The Kusa-Jātaka*, 醜太子本生, 遮羅国王, 六度集経, 六師
(早稲田大学大学院修了)